

## 魅力ある大学づくりに関する提言書

現在、福井県には、福井県立大学をはじめとする国公立大学3校、私立大学が3校、短期大学が1校あり、多くの高校生は、まず、県内の大学等への進学を考えます。しかし、多くの高校生は、学力の課題や経済的な事情など様々なハードルがありながらも、将来の夢を叶えるために県外の大学等に進学しているのが実情です。

今回、私たちは、福井商業高校3年生に進路に関するアンケートを実施しました。その調査結果によると、学びたいと希望する学部が県内にないため、県外に進学せざるを得ない生徒が多くいました。また、経済に興味を持っている人が多数いましたが、経済学部が県立大学にしかなく、さらに定員が少ないため、仕方なく県外に進学するという生徒もいます。さらには「就職のことを考えると福井に進学するメリットが感じられない」という意見も多くありました。こういった意見は、進学を希望する、多くの県内高校生の思いではないでしょうか。

そこで、高校生が夢の実現に向けて県内で希望する分野を学ぶことができ、県内大学等への進学が促進されるように、以下のとおり、魅力ある大学づくりについて提言します。

- 1 県内において高校生の学びの希望を叶え、進路選択の幅が広がるよう、県立大学に新しい学部を設置すること  
高校生の希望する学び  
地域に貢献できる公務員になるための学び、留学等による国際的に活躍するための学び、県内企業の技術の素晴らしさを体感できる学び、コンピューターサイエンスの学び
- 2 希望者が多い県立大学の経済学部の定員を増やすとともに、地域枠を拡大すること
- 3 県内大学への進学が、県内企業への就職に有利な環境となり、学生の県内就職が促進されるよう、大学と県内企業が密接に連携し、企業情報の提供、長期のインターンシップ等を拡充して学生と県内企業の繋がりを強めること
- 4 高校生に対して県内大学の良さを伝えるとともに、若者が主に利用しているTwitterやInstagram、TikTokなどを利用し、県内大学等の情報を発信すること。また、動画の作成においては、短時間の動画にするとともに、サムネイル画像を工夫して高校生が視聴しやすいようにすること

令和4年8月4日

福井県知事 杉本達治様

福井県立福井商業高等学校 チーム「ぎゅっタン」  
大久保 凜 北川 帆夏  
藤嶋 亜衣 南出 菜緒